

## ルイボスサプリメントによるドライアイ眼の涙液分泌促進効果—クロスオーバー試験—

福岡 詩麻<sup>1,2</sup>, 有田 玲子<sup>1,3</sup>, 松本 玲<sup>1,4</sup>, 新見 浩司<sup>1,5</sup>

<sup>1)</sup>LIME研究会, <sup>2)</sup>大宮はまだ眼科西口分院, <sup>3)</sup>伊藤医院, <sup>4)</sup>レイ眼科クリニック, <sup>5)</sup>新見眼科

【目的】涙液水分量を増加させるドライアイの治療としては点眼や涙点プラグが一般的である。Sjögren症候群に伴うドライアイの治療として、ドライマウスの治療薬のセビメリン、ピロカルピン内服がドライアイ診療ガイドラインに掲載されているが、ドライアイに対する保険適用がなく、全身的な副作用の可能性もある。食品素材のルイボスから精製されたエリオジクチオール-6-C-グルコシド(E6CG)は、ムスカリンM3受容体を刺激し、目、口、肌の乾燥を改善したと報告されている。今回、E6CGによるドライアイ眼の涙液への効果について検討した。

【対象と方法】対象は、LIME研究会所属4眼科医院に勤務しており本研究に同意が得られたスタッフのうち、涙液に関する事前検査を施行し2016年版ドライアイ診断基準を満たした28名49眼(男性2名、女性26名、年齢38±13歳)。対象をランダムに2群(I群、II群)に分け、E6CG含有食品(I群)もしくはプラセボ(II群)を1回摂取、別日に他方の食品を摂取させた。摂取2~3時間後に自覚症状、涙液メニスカス高(TMh)、涙液層破壊時間(BUT)を測定した。

【結果】I群とII群間で事前検査値に有意差はなかった(各 $P>0.05$ )。E6CG摂取後の方がプラセボに比べ、眼乾燥感( $P=0.003$ )、TMh( $P=0.006$ )、BUT( $P<0.001$ )が有意に事前検査値よりも改善した。有害事象は認めなかった。

【結論】ルイボスサプリメントによりドライアイ眼の涙液量が増加し、眼乾燥感が改善した。

---

【利益相反公表基準：該当】有

【IC：取得】有

【倫理審査：承認】有